



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R | 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー 大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第22週報 No. 1863 2014年(平成26年) 12月5日 第1863回例会記録 12月12日発行

司 会 朝日 達夫 副幹事

点 鐘 山田 正憲 会長

斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 大峯 麻友 様 (ゲストスピーカー)
河辺 清司 様 (ゲスト紹介者)
林 義晴 様 (米山奨学生)

ビジター紹介 神奈川R.C 金野 克佐 様

年次総会

クラブ細則第1条及び第5条の規定に基づき、年次総会が開催され、次年度理事・役員が出席会員全員の賛同により承認された。

理事・役員

会 長	江森 国一
直 前 会 長	山田 正憲
会長エレクト	植田 清司
副 会 長	矢野 修二
副 会 長	加藤 仁昭
幹 事	朝日 達夫
会 計	渡 邊 淳

理 事

職業奉仕委員長	山本 芳弘
社会奉仕委員長	横溝 亘
青少年奉仕委員長	佐藤 勝彦
国際奉仕委員長	赤堀 和人
戦略計画委員長	河野 明光

本日〈12月12日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 ローストビーフ
- ◆ 卓 話 「どんな過去でもやり直しはきく」

公益社団法人日本駆け込み寺 代表 玄 秀盛 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)

<< 本日のBGM >>

「二人でお茶を、センチメンタル・ジャーニー 外」

特別行事

◎米山奨学金贈呈 林 義晴 様



皆様こんにちは。もう12月になりましたね。年末で忙しくなり、気候も急に寒くなり、どうか風邪に気をつけて下さい。

年末パーティーの着物ファッションショーを大変期待しております。皆様のおかげで、着物を着る機会を設けて頂き、心からお礼申し上げます。

誕生日祝

加藤 仁昭 会員 (12月5日)
鴻 義久 会員 (12月10日)



幹事報告

植田 清司 幹事

・次週、例会終了後に12月度定例理事会を開催致します。

委員会報告

雑誌委員会 委員 但野真実子

縦組15ページ「ロータリークラブの女性」について、私はとても勉強になりました。女性がまだまだ少ないということで、ロータリーの良さをもっとお伝えし活動していきたいと思えます。

スマイルボックス

小山 市康 SAA

神奈川R.C 金野克彦様 お世話になります。

鴻 義久君 誕生祝い、ありがとうございます。65歳です。
加藤仁昭君 誕生祝い、ありがとうございます。66歳になりました。
山田正憲君 大峯麻友様、本日のお話し、楽しみにしています。
富居利貞君 ご無沙汰しております。
岩澤利雄君 山本先生、親戚の者がお世話になりまして、ありがとうございます。
月山 勇君 山田富雄さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。
小池先生、矢野さんのご配慮・・・流石。
山本 登君 花粉始まりました。
植田清司君 山田富雄さんのご冥福をお祈り申し上げます。
矢野修二君 ①ミスターロータリアン 故 山田富雄様のご冥福をお祈り致します。②誕生日のお祝い、ありがとうございます。
茂木知子さん ～誰も知らない赤い羽根～澁谷さんは昔、澁谷さんの胸に赤い羽根を付けようとした女性が列をなしたと自慢していました。誰も見たことがないので真偽の程はわかりません。
小山市康君 クリスマスのイルミネーションが目を楽しませてくれる季節となりました。もう一年が過ぎてしまいますね。

12月5日	12件	49,500円
本年度累計		1,040,920円

出席報告

保坂 一成 出席委員

会員総数	55名	(33+22)名	
出席会員数	45名	(28+17)名	
出席率	90.00%		
ゲスト	3名	ビジター	1名
前回補正後	87.50%	前々回補正後	90.70%

卓 話

「宝塚歌劇100年の歩み」

元 宝塚歌劇団 宙組初代組長 大峯 麻友 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)

今年宝塚歌劇団は100周年を迎えました。4月には大々的に記念式典も行われ、歴代の元タカラジェンヌや現役生達が集まり、改めて宝塚の素晴らしさに触れる年となりました。

創業者、小林一三先生の教えと伝統を受け継ぎ、また昔の代表作は繰り返し再演、昔からの固定客を大事にしながら新しい客層にもアピールをする為に新しい作風にもチャレンジして客層の幅を広げています。



そんな華やかな舞台を作る宝塚歌劇の組織図や宝塚に存在する二つのピラミッドで分けられる、年功序列とスター制のシステム。夢あこがれて入った所がなんと女軍隊のような所だったという厳しいしつけと訓練から学んだ音楽学校時代。皆さんがあまりご存じないそれぞれの組の頂点に立つ「組長」と「トップスター」の違いについてのお話など。短い時間内、宝塚歌劇の裏側のほんの入り口ですが、少しでも感じて頂けたら幸いです。また機会がありましたら、80名の女性の組織をまとめてきた組長経験からリーダーシップやコミュニケーションの話ができればと思っております。いつでもお話に参りますのでご興味のある方はお声をおかけ下さい。

本日はありがとうございました。

2014-15 年度R 青少年交換学生 マンスリーレポート

Monthly Report / November 2014

Kazune Ito

12月に入り、もうすぐで2014年も終わってしまいますね。自分の住む家では、もうクリスマスの装飾を施し、ツリーとnacimientoというイエス・エクアドルの生誕の場面をあらわした人形の飾りを用意して、もうクリスマスモードです。しかし、天気が春の天気なので、ちょっと不思議な感じがします。エクアドルに来るまで気付かなかったのですが、年中行事は、自分の中で無意識に日本の季節や天候とセットになっていたの、こっちに来て、当たり前ですが、自分のイメージと違う中でイベントを過ごすのはとても面白いです。年越しはお祭り騒ぎになるらしく、日本の反対側で日本よりも遅い時間で日本の年越しの空気とは正反対の空気です。新しい年を迎えることになり。すごくワクワクしています。

今月は、9月や10月と比べてあまり忙しくありませんでしたが、学校ではたくさんイベントがあり、ほぼ毎週末パーティに行ったり、キトの名所に連れて行ってもらったりとエクアドル生活を満喫しました。

自分が通うFranz Schubertでは、今月イベントがたくさんあり、授業に少し退屈していた自分にはいい刺激になりました。11月12日にcampanaという自分たちの学年ともうひとつ下の学年がイベントを企画して互いに競ったり、ディベートをしたりして学校のトップを決める日本という生徒会長を決める選挙のようなものがありました。当日になるまで自分は何をなんのためにやるかさっぱりだったのですが、音楽をガンガンかけながら、スプレーで服をペイントしたり、仮装をしたり、お菓子を配ったり、サッカーのトーナメントをひらいたりと色々楽しむことが出来ました。日本の生徒会の選挙はマニフェストや演説を聞いて投票する形ですが、こっちはまるで違い、丸一日使ってお祭り騒ぎで投票する人を楽しませて決めるっていうのがすごくラテン的だなと感じました。みんなが楽しめるので、日本でもやるべきだと思います。その他にはライブコンサートみたいのを開いたり、運動会をやったりして、授業以外のことを大いに楽しみました。

エクアドルで学生生活を送っていると良く感じるのですが、日本の学校とエクアドルの学校の大きな違いは、先生たちのノリの良さ、先生と生徒の距離の近さ、そして金曜日の雰囲気だと思います。イベントでサッカーをやるときは、生徒対先生の試合をやるがありますが、先生たちは本気で勝ちに来て、プレーもかなりうまいです。先生と生徒との挨拶は生徒同士が挨拶するように同じようにしますし、この前は自分のクラスの先生の誕生日サプライズをしました。このような先生と生徒との関係が親密なのは、すごくいい文化だと思うのですが、そのため、生徒がだらける時、特に金曜日は週末ということで先生も授業を行うやる気がないのか、授業をしなかったり、何もしないで授業を過ごしたりすることがあります。もちろん学校や先生によってもかなり違うので一概には言えませんが、自分の学校ではこのような風に過ごしています。自分は授業がなくなっても、特に大きな問題はないのですが、もちろん他の最終学年の人達などは受験に必要なので、焦りとか勉強しなきゃいけないみたいな気持ちはないのかなとちょっと思います。

11月8日にホストファミリーがキトの中心地にあるTelefericoという山に連れて行ってくれました。キトは2850mほどの高地に位置する都市なので、キトの北側の景色は多くのビルやショッピングモールなどがありながら、緑豊かな山が見られるという素晴らしい景色です。Telefericoの頂上までは、ロープウェイで登って頂上からのキトの街並みを楽しんだり、伝統的な先住民の衣装を着てリヤマと一緒に写真を撮ったりしました。Telefericoには外国からの観光客がたくさんいて、キトの自然の部分の観光地としての魅力を発見出来た日になりました。

《次頁へ続く》

派遣生らしく日々の生活の中での日本文化紹介について少し書きたいと思います。

エクアドルに来る前、自分が一番心配していた準備すべき事柄は、日本文化紹介でした。それは、日本文化のことを詳しく知っているわけでもなく、それをスペイン語で説明するとかなり難しいのではないかと思っていたからです。震災のことや原発、原爆などについて聞かれるときは、どのくらいの被害があって今の状況はどうかかは自分が詳しく知らないの、答えられないことが多々あります。なので、やはり事前にしっかり調べてスペイン語で説明できるようにすべきだったと感じています。

しかし、こっちに来て思うことは日本文化を紹介する一番の方法は、日本人としての自分の振る舞いや態度だと思えます。こっちに来てもう3ヶ月が経ち、学校で多くの小さい子供たちと仲良くなり遊ぶ機会が多くあります。最初のころはchinito（中国人）と言ってからかってくる子供たちが多くいました。自分は悪い言葉を使って逆に相手をけなして言い返すこともできましたが、自分は冷静に返して日本人としていい印象を与えるように努力しました。他にも、なんでそんなに目が細いのか、中国と日本の違いがわからないんだけど教えてくれないなんてこともからかい半分で聞かれることがあります。逆にエクアドルとコロンビア、ペルーなどのラテンアメリカの国々の違いを教えてよと返して、中国と日本は言語も人々も文化も違うんだよと教えてあげます。自分は、このような差別的な言葉は本気で差別しているわけじゃないと思うし、ただからかっているだけだと思うようにしています。エクアドル人が本当にこういう気持ちでこのような言葉を言うかはわかりませんが、からかっているだけだと思わないとこっちでは生きていけないし、海外にいたらそのような差別的な言葉をかけられるのは当たり前だと感じています。他の国はどういう状況かわかりませんが、何も言わないで差別的な目で見られるよりは、からかってくるほうがまだいいのではないかと理解して、からかわれた時も冷静に言い返すようにしています。

自分の学校には自分のほかに2人の留学生がいますが、彼らは自分に比べて、自分たちの国の文化や言葉を紹介したりするのにあまり義務感みたいのを感じていないんじゃないかと思えます。自分は日本文化を紹介するのが好きですし、みんなも楽しんでくれるので友達もたくさんできましたし、日本文化を紹介して人とかかわることが出来るのは派遣生としての特権だと思います。自分もそこまで義務感みたいのを感じてはいませんが、日本文化を紹介する機会があれば積極的に紹介するようにしています。

この前は、学校の授業で日本文化を紹介する機会があり、浴衣を着ながらスライドを使って日本の四季や横浜などについて紹介し、日本食を紹介するときには、自分が学校に行く前に作ったおにぎりやインスタントの味噌汁を持って行ってみんなに食べてもらいました。思ったほど好評ではありませんでしたが、日本食を知ってもらうきっかけになったのではないかと思います。

また、この前の休日には、自分の家に友達を招待して一緒に寿司を作りました。自分は、日本人として恥ずかしながら寿司を一度も作ったことがなく、初めて自分で計画して材料や作り方などを調べて、前日に自分で試しに作ってみたりしたおかげでうまく作ることが出来ました。計画していた人数よりも多くの人に来て、みんな楽しんで作ってくれましたし、味もかなり好評でした。ちなみに手巻き寿司は生魚が食べられない人も食べられるので、すごく好評でした。寿司を食べながら日本のアニメ、日本語、日本食の話をしたり、反対にエクアドルの自分が食べるべき伝統料理なんかも教えてもらいました。日本文化を紹介し、エクアドルのことについても知れる機会になったので、本当に良かったです。まだ家族には作ってないので、次は家族に作ってあげたいと思います。

派遣生としてのもうひとつの大きな使命として、エクアドルの文化について学ぶというのがあるかと思えます。自分は日本で準備している間は、エクアドルについての本を読むようにしていましたが、読み終えることができないままこっちに来てしまいました。しかし、やはりエクアドルの歴史を学ぶ必要があると思うので、エクアドルの歴史の本を買いました。また、エクアドルの国歌やキトのChulla quiteñoという歌の意味を調べて歌えるようにしたりして、スペイン語の勉強もかねて学んでいます。放課後の時間は、暇な時間がたくさんあるので他にも本を借りたりして読みたいと思っています。

気づいたらエクアドル生活もう100日が過ぎてしまいました。この充実した最高の日々が残り約6か月しかありません。エクアドルでいられるこの素晴らしい時間有意義に過ごすために、年末年始、もう一度このプログラムの目的、自分がエクアドルに来た目的を再確認し目標を立てて、過ごしていきたいと思っています。



※ 紙面の都合上、次週会報にその他写真を掲載します。

次回《12月19日》の卓話予定

テーマ 「エンディングノート活用術

～10人の具体的活用例から～」

司法書士法人大橋恵子&パートナーズ 代表社員

大橋 恵子 様

(紹介者 佐藤 勝彦 会員)